京すゞめ 二

京雀巻第二目録

京極通　今の寺町通より西へ竪町
御幸町通
白山通　今の高辻通
富小路通
万里小路通
堺町通
高倉通　今の柳馬場通より二条の南ゆくい松木町より北ゆくい頂妙寺通
間之町通

東洞院通

車屋町通　土手ちかく国幡宮実相寺あり

烏丸通

両替町通

○京極通　今の寺町通より

寺町通わかれより北へ御門口の町にて

多くは八門東へ入る西洞院通の町なり

町也みなこれにつづきて土手松原通まで東行

いたる寺かく町多いゆえんり也

○西竹屋町　この町はこれより寺にて浄

○光源寺町　この町よりうへ寺ばかり

○長福寺町　こゝ町かもやくじ丸多勤

とてそ佛ひろり管絃相の笛とも

○歓喜寺町　○竹屋寺町

○十念寺町　○

○満寺町　なり町みなこの町よりあるも

うへなかくさまのうちこの町うへとそり

こゝ本満寺へ日蓮宗丸寺也　此寺丸日蓮尊

人のま像い小原山丸ありとより場所なり

ひろこの本尊也の左ふくは義経とも

弁慶なしといひ伝へりもりに

こうまはひろしくりきりみくまいせん

おそとそとかの宝物のともひいきう

よみ作てうつや

○清涼寺町　これも日蓮宗の寺ありの名ふ

釈迦もろ丸世寺丸塔い英傑の精魂多

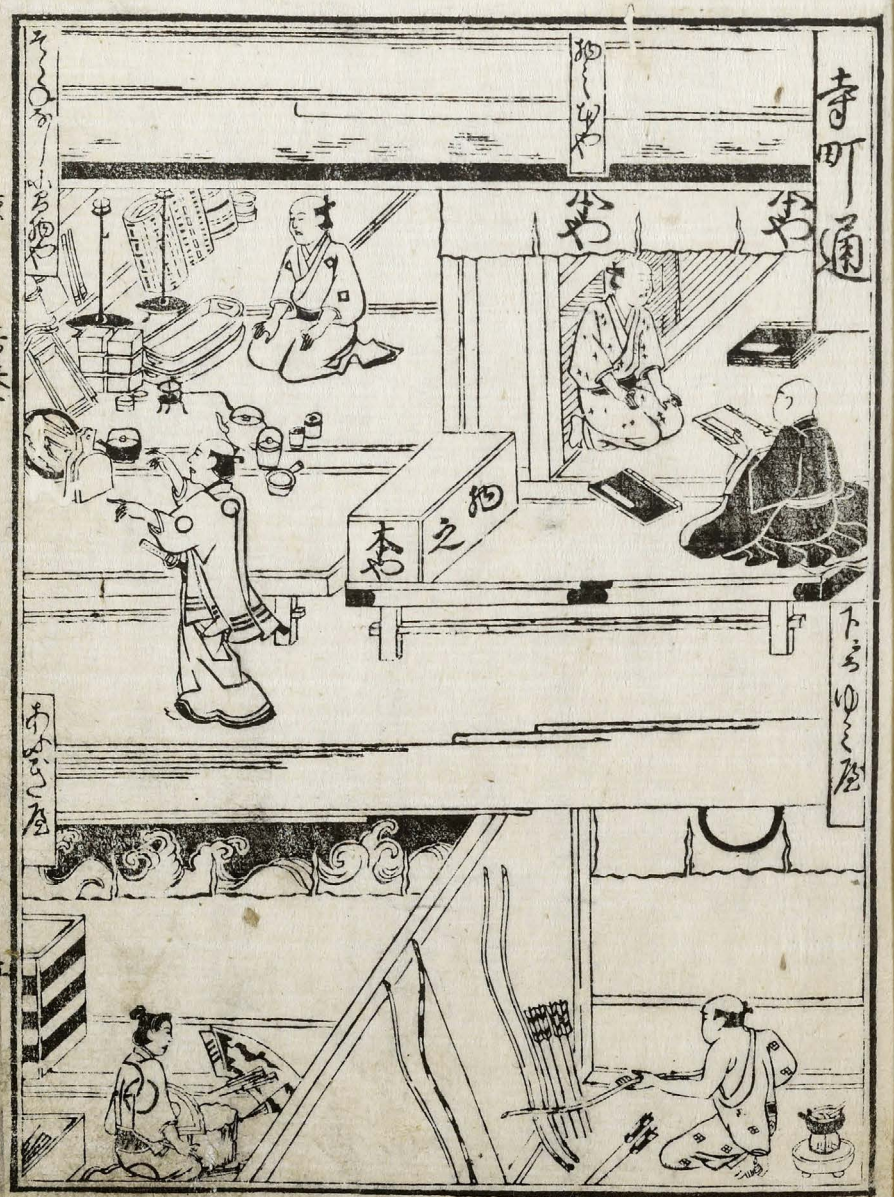
爰みくくる隆し墨画とりわきたり本地

つまり丸こうるし多作みく作ひりともあり丸

仏表裏とのみすはやもろ丸うる今丸門を入

つくれども水のつきざりしてゆくりとそ
つきもんをうみるこい小原口うく通うくゑ浄
もとはうくやうこ原表也西へ今も門前也
今も門通うくやうこ門前
○うんみよだうこ門前
こうるい初えこうんれ土地堂みやく寺号ゑ惹定
大師れ作うして石彫今仏乃左場也
地蔵表うんーやうれ守もうやくミ重れ塔ゑ
でうづ建ぶうり
○一條通場面
これ一條通うくる町ゑ
ゆくり一條のみるこ東仮通乃ゑ二町い

うえ上ゑつ浄水やく都へりしうう
ゑりうりもるゆへう東小路と号すとそう
○芝の薬師前
いい中善光寺前とも
いい中善光寺ゑいこれも日蓮宗乃寺也こゑ寺乃
左像いうえ龍女ううわうをまゑとそ仏
れ浄ゆう牡牛ゑれうをはくうく作ぐりきい
やく奥仏也とうや
ゑつうみるこ東仮のあいうえ東仮ゑて
東ゑ二町これ通も新玉れ家也わ絵よいと
ゑつ絵こ是れの陸一条院藤原時代の院洛絵巻



淨土宗のみで淨土ゑんぎやうの
四ぐわんまでまもるなり惣本山知恩
院の末寺也もろ〳〵のゆるしをもつて
地わく住つとめる
○淨光淨華町　こゝも淨土ふたつの
ものの寺也
わら絵うり西洞院町より東へ二町半漆
殿の后ぐわんじ町より北へ二町半
或絵うりゆうり町のみなこと東西のあき地
和泉とまち清水ごぜんの門前ぢやや

て修行をつとめ
○十津川奥泰町　山町から十津川奥へ十津川街道
を七里十八町ほど八月十八日まで十津川奥の
こゝまでゆきます
○七観音町　此町から七観音清水寺百丁過
ぎ百丁過ぎから寺までの間に茶屋が七軒
宇久井寺へ行く此中に浄水といふ所
佐野にて十念をもらふ疫病をはらふ
ものやゆ義経公この時みな焼ほろぼし
地蔵堂より三百丁過ぎから神楽岡のうち
白川通の小さい四軒ほどつゞいた所
せつもち小町といふ名物生七観音
八坂の高大寺へよらされる
○華厳堂泰町　華厳堂へ観音の中に御物
がくさん京都へ行くさうしん九ヶ所巡礼の
札所でそこで行者をする
○清水寺泰町　○清水寺泰町
○西行寺泰町　○下津奥泰町
十津川奥八重の郷十津川奥泰町
此町は天下一の細工百軒ばかりそれ

○大鋸通場の町　時ふちかうかのみど
通こうちかくくはもこう世町
日雇ふうるかう富えるとまうす山ちあよ
碁不手塙町
こう通わうる町
○えうぐるる茶町　○みうやんじお町
○かんかうじお町
世まのう町通こうわう時は傾面仕長さ
こうるかうて明者え寿まうこれかのとみ
○下ほんうじ町　こう通わうる町　○天性寺お町
世町みうさ丸ち廉う矢田るかうこ丸地新

うえん起い寺御通こう茶新七ちるもう
○えうこう町　蕎ひご行を世うこうし
丸もう千宅そうあり丸町家いこう菜物や
お縁やまの棚かう
○泉寺新町　世町ひご丸七こう武新
の石場かう寺仲試人筆とそす作家もう
寺新の汚新かう字かうり丸比魚五乃魚
うくしきご墨深の衣こ清英うごしと
うこうり
その南陸ハ陽うう地新也これいそのみ

新町通りをうらの方町まで一筋
を湯舟をうらのこと也地名の初墨也伊勢の
女人也平産を安りまつてくらつ也人の女ハ
等をうけていのる也てをそびの也名と
名づくこと也名参の字をさる治もうとい
てり歯茶をうるとうや
頓茶師　こというう人宅町通二条さ
がる町也ひろうとうや今の宇治伝の茶の
初わうりこと也宇治の仕事也ひろう茶の
名を頓やし通うと、日かけうやひろうやん

やし寺也亜ひろう井のもとこと也頓やひろう
もうつうひろうやうし作うり
○兎うくじ町　兎うくじい法也宗みるかり
のんもうろ町通伝ひろう町也ひろうとうや
○大ゆんじ町　この町也古宗也通場宇宗の
宇治ひろう町
○てつやんろ町　此町大雲堂い信長うの時
安土ろてて法也日蓮安宗伝編也も貞安
北陽もろうり山寺のくろくやもし二取年
い二月大日う報恩也伝茶会をうりもうやし

祭禮の儀式をつとめ、常座の飾り供養ぐ例をしてきぐ殊勝にぐもやもや

○十人町　○そびや町

○笹沈町　山町は多のよな裏は辻うら変りの

ゆきぐ通ぐ　山町まいぐをぐり矢をぐ細工

○ぐや町　ぐの掌細工扇やぐうの高物あり

○鶏や町　鶏もかぐのかぶしも絶なり

右二町ハひぐうぐして撲のかぶりの鶏や

町の南いと多の指通也指のあづかり南へ

いと多棚の品町はゆく細通也川端也

○沸華町通　ぐみを商売ぐうぐ也山の町

ぐ段の城はやぐしぐ筆申家門の通

みぐ都ずい町商を通のぐものもやいの華

町ぐひつぐ也ぐや

○も筋ん町　○びやつ町　○杉の町

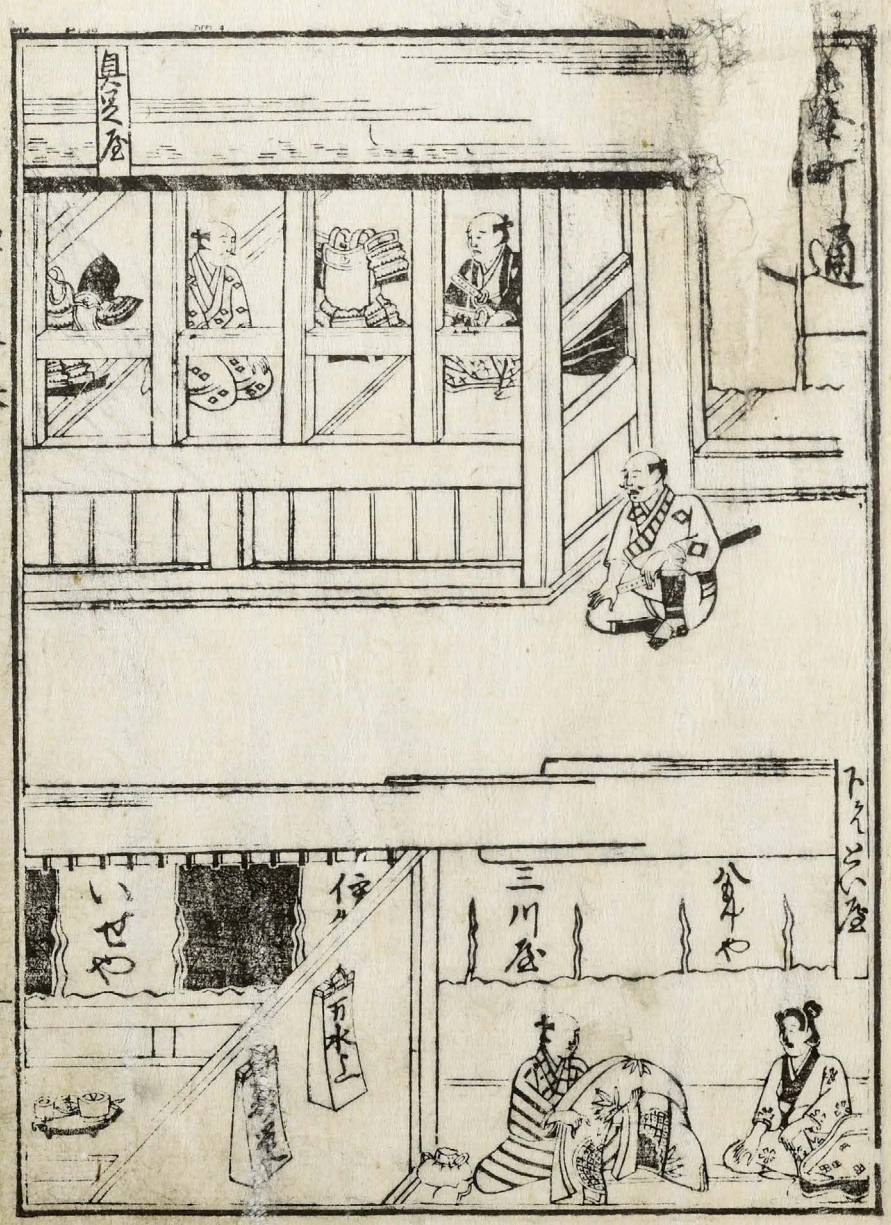
○ぐ筋や町　○駕ぐや町　○あめや町

○大ぬんじ町　○まぐや町　○えび屋町

○つも屋町　○ぬ屋町　○大く町

○ぬぬぐぐ町　○ぐぐや町　○ぐぐ元町

○ぐぐや町　○ぐぐ商町　○わぐら町



こゝ南へ三筋の橋通ゆきあたりまでこうみやくいん寺
○本町 もとより南へ寺印也 三筋通さゞ町
○橋のもと町 ○油屋町
○何や町 ○ゑや町
○南へ七筋通ざこ町へゆきあたりまで此町
つゞきそこをも筋違通にさゞ寺町へすぢ
○ろうそく町 ○ろうそくや町
○下ろうそくや町 ○すゝ竹町
もとより南へ七筋通ざこ町行あたりまで也

○白山通　この町は本そめやところどころの紙すき人ありけるゆえにそのころやの町ともいひまたは笠師と両替にて俗人はゆきゝせざれどもそのかずよりにぎやかにしてそのかずおほし

○ゆきや町

○きくのや町

○ふや町

○ふくいや町

○ゆりの町　そのみこの町は素麺腐漉飽の粉を賣る家ありけるゆえ腐屋町通ともつゝしし

○上白山町

○中きくさん町

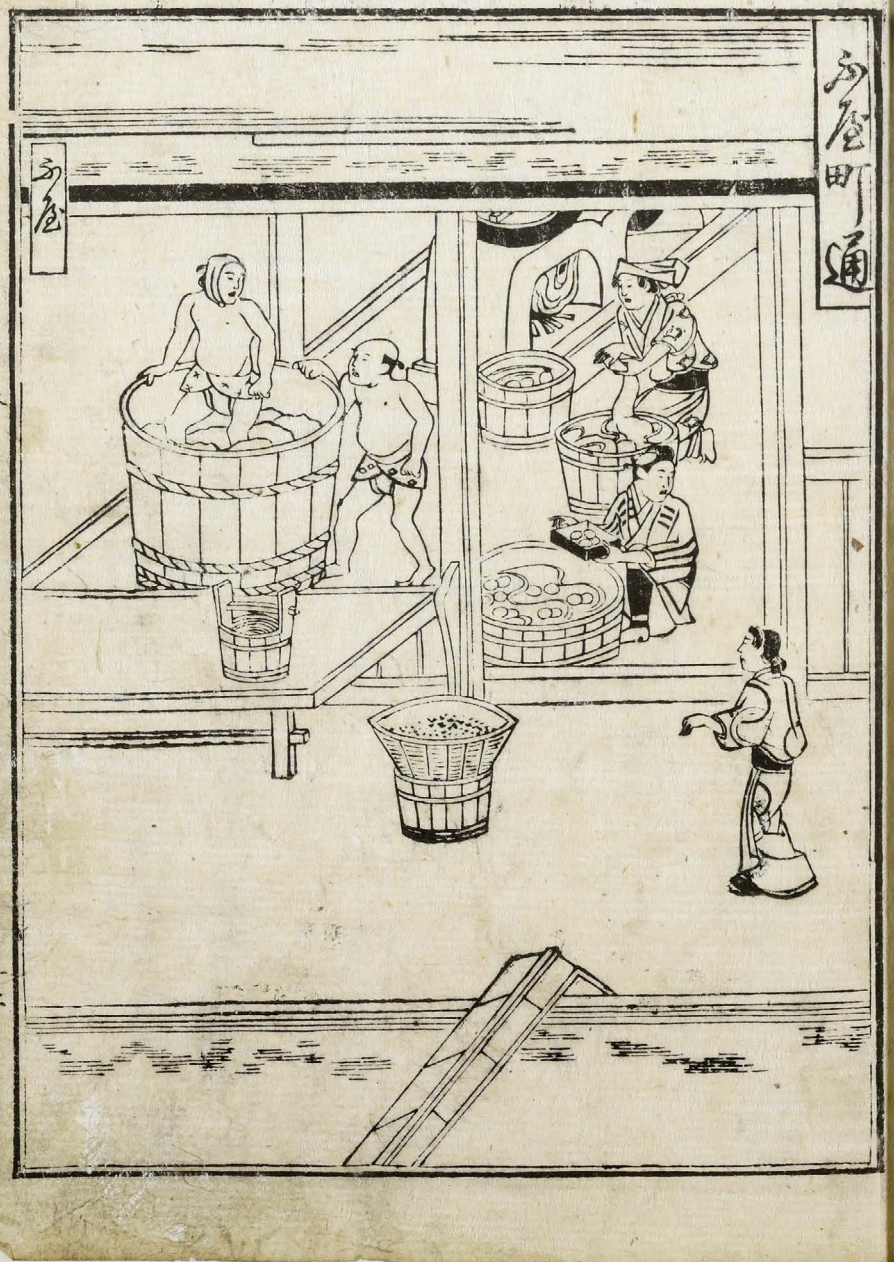
○下きくさん町　この三町ともにそのみ白山ごんげんの前なるゆえなり

○しゝくべ町　○ぬり町

○梅や町

○まつや町

八日十二日ごろの市は紙と笠師と



○かぢや町　○くぎや町　○えび屋町

○うるし屋町　○神明町

山町ありけり神明うしろに社ありけり此南いと長き横町なり此通さゞら木也おもての方よりて横通さゞら木いと多き横町なり此南隣り弁天地所となり大門ありて地所ばかりにて町なし

小名となみのようにその小名ありけり

ふきあげ弁天地所となりけり

をはりいのりなしといふ

○富小路通

○こうやまち

○しじ町　往當最勝寺よこ小路ゟ小松寺迄町

有り今ハ寺町通ゟ下ハ町名ハ有ども

○まつや町

○うどん屋町

○大炊町

○ゆり山町

○杉や町

○こうぢ町

○ゑんじ町

○ぬりや町

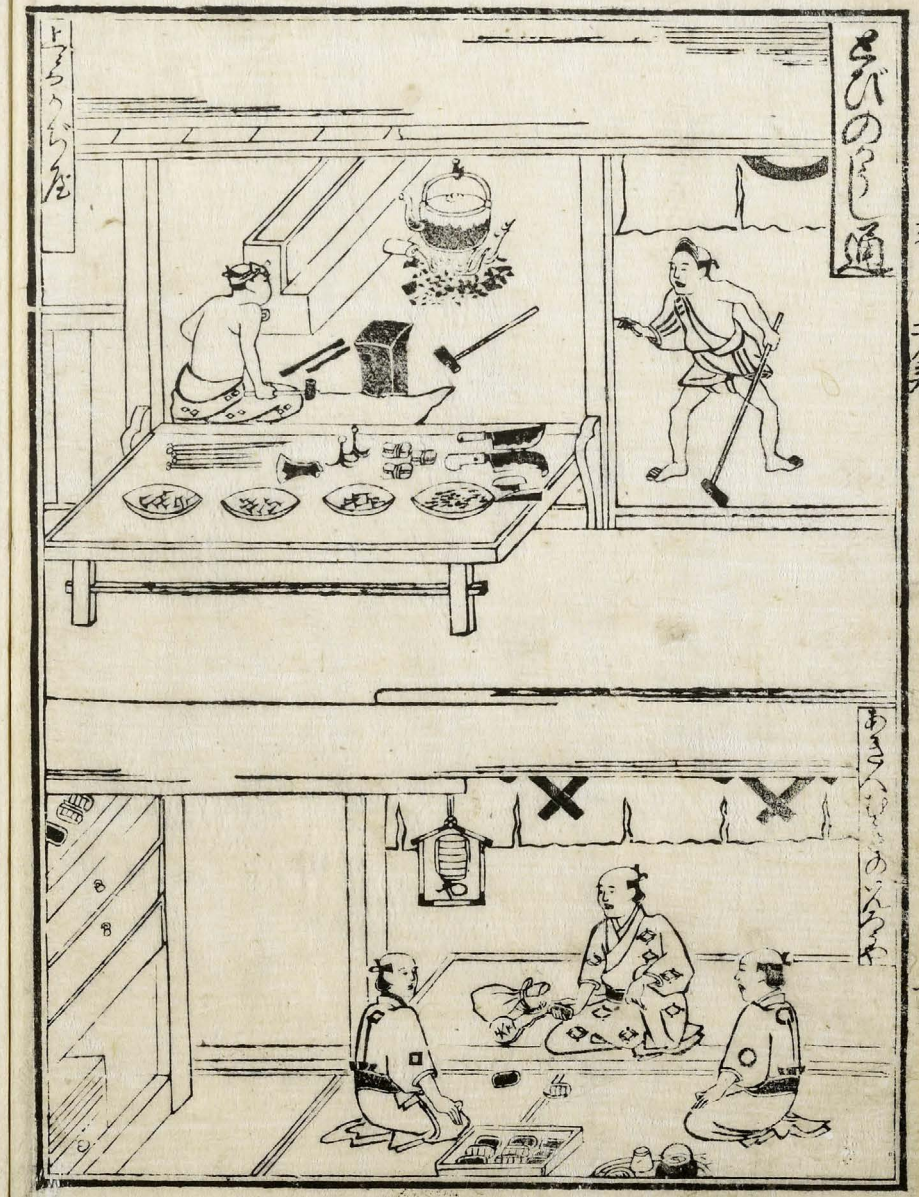
○えびす町

○猫や町

○ゑんじ町

○ゑんじ町

○ゑんじ



○万里小路　なん人も手うち安からいまさゞる縁さまの時
しるはい柳やなぎ生ずきうの御こう陽通さうる
さうこもの通さうる
○ろくやくし町　法華ほっけ寺ゞ善導山町よりゆくし
しるしるや青いかやの小万里小路のうち死の
ちゃうこの女房のうち南へ通さうる桜木町ちゃうくへ通れい
この家と桜町ろくやくしろくや
○柳ちゃうこ三町め　○かるのり町　そのうみ
今るむのうの寺ゞの前ぜん山町よりろくや
○柳ちゃうこ二町め　○ちゃうこの町
墨田川へ商人山町より宿うりしろくや
こゝ要陣揃物

○日吉下町　○日吉中町　○日吉上町　○日吉山王社　○青木寺　○青木山観音寺

○日吉下の町

山王社は往古の山王にて近代の勧請なり其由来は詳ならず

水の石の鳥居は寛文の頃の建立なり

此辺城ありしと時代石など掘出すことしばしばなり

詠の橋を過て往昔の城代の屋敷石垣の跡など猶存せり

○八日町

○八日町

○井戸町　○十日市町　○十日市町

○竹の町　○本町　○三日町

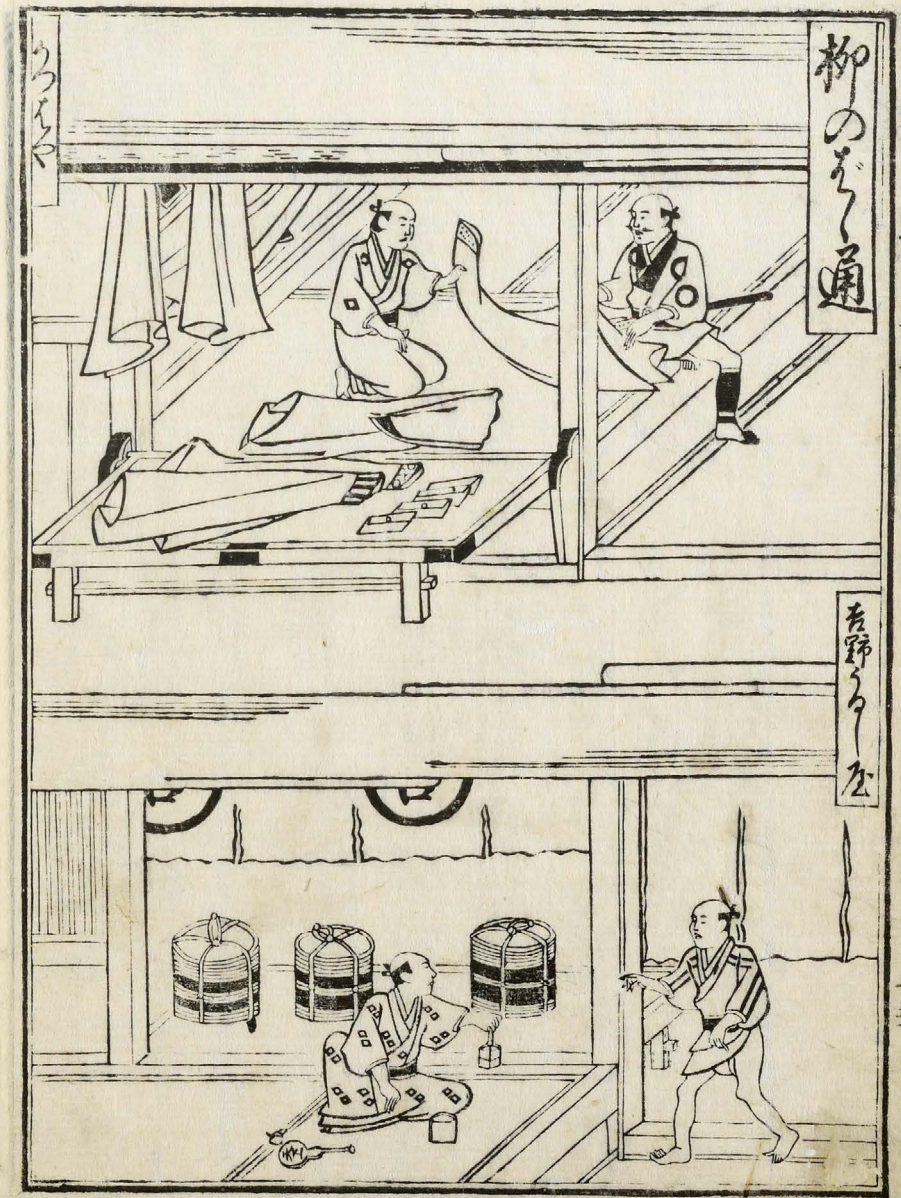
○紺屋町　○忠兵衛町

此辺古き家ども通りわろし

仲町より横町の方へ通りの突当りを南へ八町ばかりいせ町の大路なり

家ごとに二条の用水を引き清水を湛へ

此水にて人々の飲水にも用ゆ



○堺町通　この所を二丁ともうりてさかり町通ともうす雲雀もうりみくい魚やもおもちやもおわいの肥桶みなこの所にあり

○こさかり町　こさかり町と山町ともうす事

ゆえんありとかや今ははやりくさいろいろやうりくさいろいろやうりくさ

○堺町　○葺屋町　○木挽町　木挽の家所々にありすみやきやうりくさ

○葺や町　○もと吉や町

○ざこつめ町　○すまち町

○ろくさいもく町　ちよだ二町　うらみぞ

とうをうろ

○やきぐつの町　○ぬぐや町

○さうや町　○やとな町

○ふうや町　○こうや町　みなミはやうろ

通ゆきうろ也　二條大宮西へ入町

○すゞや町　此町のくだりも

○ゑびすきしうりもの

ゐなかぐやのやどもの

○こうや町　我ぐちの塀うろ

手持の手ぬぐひうろ　ごみ石

のこらず　ほこりまでいれる

タぐちの町ろの本堂をや町ろ

ものいはぬうぐや

○ぬぐや町　○ふい金物の町ろ

物種みせ　女ばうろ　ふい金物といふ

き堂ろの前神ぢまでもろ

てゆくさんともろけろ

ぢまでせ

ろしこの町ゆろ



こさくらや町　このみちをハ北へ通り
わかくさすぎのこゆきさそひ
きつつきのなる程ぜんまいとつゝこゝ寺よみのと
みのと通さくら
○かなもの町
○うら物町　この町うみを八間町へゆき
ゆきのしたぐんじよ町通り魚屋わ
きの南は塩や町とて一町乃中家ばかり
みそやみハ七軒通さくら

○高倉通　この筋北かわ頂妙寺より下ル二筋目迄西かわ頂妙寺より南へ行ゆきとゞまり

○六条通　この筋東かわ頂妙寺より南へ行ゆきとゞまり

○万寿寺町　此町へ入ル

○万寿寺通　この筋東かわ頂妙寺より南へ行ゆきとゞまり

○仏光寺通　この筋東かわ頂妙寺より南へ行ゆきとゞまり

○万寿寺町　此町へ入ル

○ひろこうじ町

○ゆうてう町

○ゑびす町

○ゆうてう町

○ゑびす町

○ゆうてう町

○ゑびす

二人の子孫なり系の子孫墓地中黒い石表示板

突抜より東へ柳馬場より堺町迄の間を二条通と唱ふ

○はんじらや町　此町名はいはれなし

○かいる町　○ゑのや町　此町名の由来なし

○すゝ物や町　○おとこ倉町　○まつや町

○富町　此南いろは丸形の形象ありし也

○南いろは丸形の形象ありし也

南は七条通より北は蛸薬師迄七条の墓地也

いろは丸事件の外国人の墓地也

○間之町通

○下立売通より松原通迄の間

○ひぐらし町　これいもの通より町あり

ひぐらしの七条より北下門あり　浄土宗

乃至家光公より長伴也

○あのゝ町　この町もひぐらしの頃より

寺社の長伴うくあれいより町名あり

○大津町　○あつの町

○えびす町　○ひぐま町

○きやもり町　此町も寺社あり

きやもりて蛙より葉とす

○三百四町　この町ひがし切(きり)より三百四
十あまり北(きた)へ行(ゆく)と東(ひがし)の方(かた)に松(まつ)平(だいら)豊(ぶん)後(ご)守(のかみ)
行(ゆく)末(すえ)の川原町(かわらまち)二百(ひゃく)三十間(げん)の
中(なか)ほどより伊勢(いせ)へ一心(いっしん)講(こう)わかれ
○わさや町　こゝの町(まち)こいぜんも住(すま)ひ
あまてわかれ也(なり)ここゝまでみのすじ
そこで通(とほ)る町(まち)より五(ご)町あり
○はぐらや町　こゝもこいぜんも住(すま)ひ
ひがしもにしも通(とほ)る町(まち)
まで五(ご)町あり

○わさもの町　こゝの町つゞき八(はち)軒(けん)目(め)より
北(きた)へ通(とほ)る
○二十軒町
○えびす町
○みそ一町
○柳(やなぎ)の木町
この町より細(こま)かに喰(くひ)よてこれあり
○ろくろ町
こゝまでこゝ七百(ひゃく)間(げん)ゆきわたる也



東河岸通

○七もん町　これ新ざい中の町をさす町也
こゝハおいわうりやく禁中一ノ町也
新ざいの表の小町ひろ〳〵ゆきかよう也小町ゆゑ
あまりすゝもなくうりてもうりてもうれ
ぬ一町あひだ町也この七もん町いこれ

ひろ〳〵とうり

○よこ二ノ本町　いろ〳〵のものうる

迎場の角一町四方ハ杭巴屋久兵衛幷ニ仲間
領としてのこる町数也

小二階の山本山(やまもとやま)の人(ひと)をよんで清水(せうず)を汲(く)ませ生(なま)ぬるくて不味(まづ)き煎茶(てのもんこう)を飲(の)ませ又(また)この通(とほ)りの見世(みせ)をひやかして元(もと)の二階(にかい)へ来(き)て一服(いつぷく)するのみ

○二幸(ふたこう)二町(ちやう)

○三幸(みこう)二町(ちやう)

○井筒屋(いづつや)町(ちやう)

○くろみ町(ちやう)

○さゝや町(ちやう)

○かんな屋(や)町(ちやう)

墨染(すみぞめ)の人(ひと)今(いま)此(この)五左衛門(ござえもん)也(なり)

○こゝのしな町(ちやう)

○袋町(ふくろまち)

此(この)通(とほ)り両側(りやうがは)甲斐(かひ)の絹(きぬ)を専(もつぱ)ら商(あきな)ふ店(みせ)なり

○祝言(しうげん)の時(とき)に用(もち)ゆる帯(おび)を専(もつぱ)ら売(うる)店(みせ)あり

○紙(かみ)の袋(ふくろ)を専(もつぱ)ら売(うる)店(みせ)あり

○此(この)町(まち)の北(きた)の方(かた)に大地(だいち)あり

○此(この)地(ち)に小(ちひ)さき祠(ほこら)あり

○此(この)祠(ほこら)に生(いき)ながら埋(うづ)まりし人(ひと)の手(て)の出(いで)たる石像(せきざう)あり

○此(この)祠(ほこら)を名(な)づけて手(て)こすり地蔵(じぞう)と云(いふ)

○此(この)地(ち)に昔(むかし)大(おほ)きなる井戸(いど)ありて其(その)井戸(いど)に人(ひと)を投(なげ)入(いれ)て殺(ころ)せしと云(いふ)

○此(この)井戸(いど)に投(なげ)入(いれ)られて死(しに)たる人(ひと)の霊(れい)ありて夜(よる)な〳〵出(いで)て人(ひと)を悩(なやま)すと云(いふ)

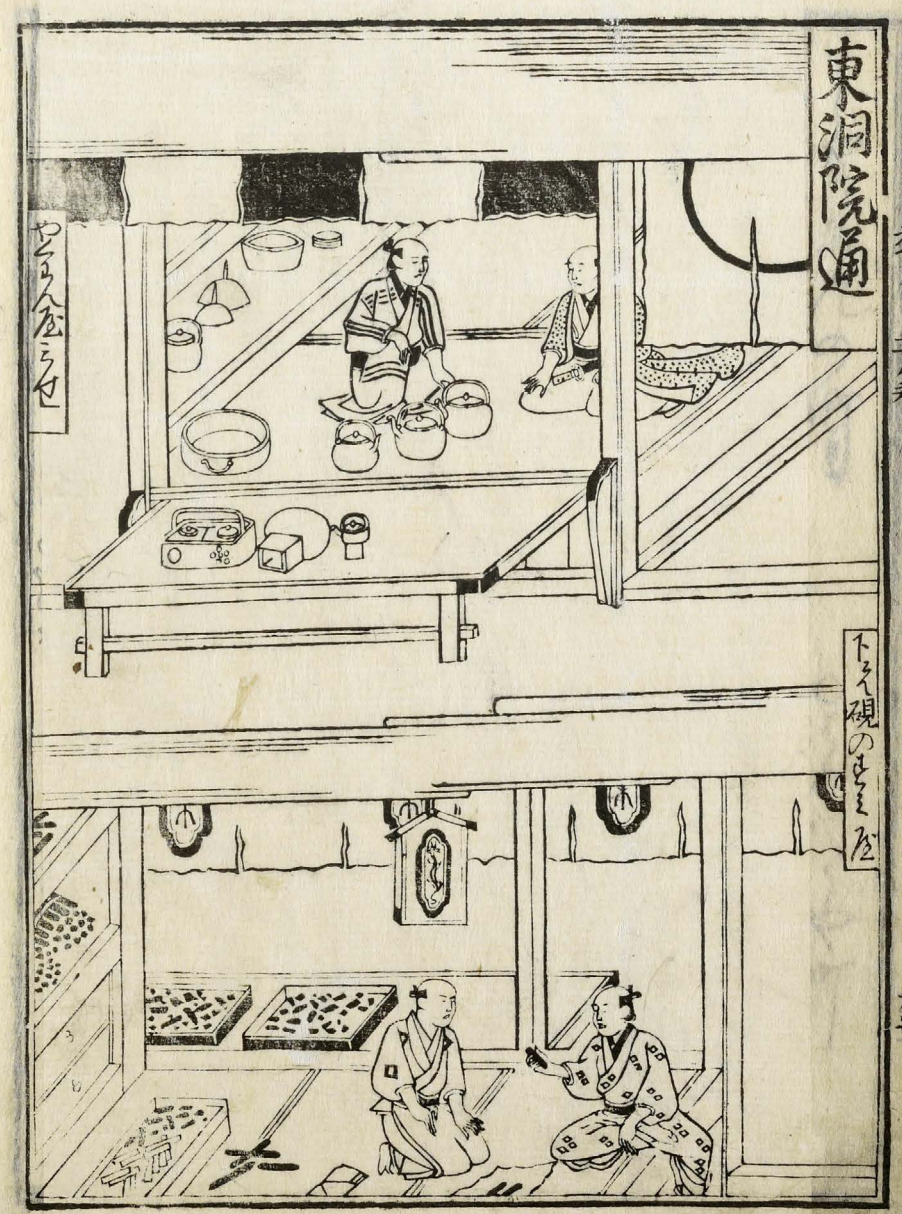
○此(この)霊(れい)を名(な)づけて皿屋敷(さらやしき)と云(いふ)

○此(この)霊(れい)出(いで)て皿(さら)を数(かぞ)へて泣(なく)と云(いふ)

○此(この)霊(れい)出(いで)て皿(さら)を数(かぞ)へて泣(なく)と云(いふ)

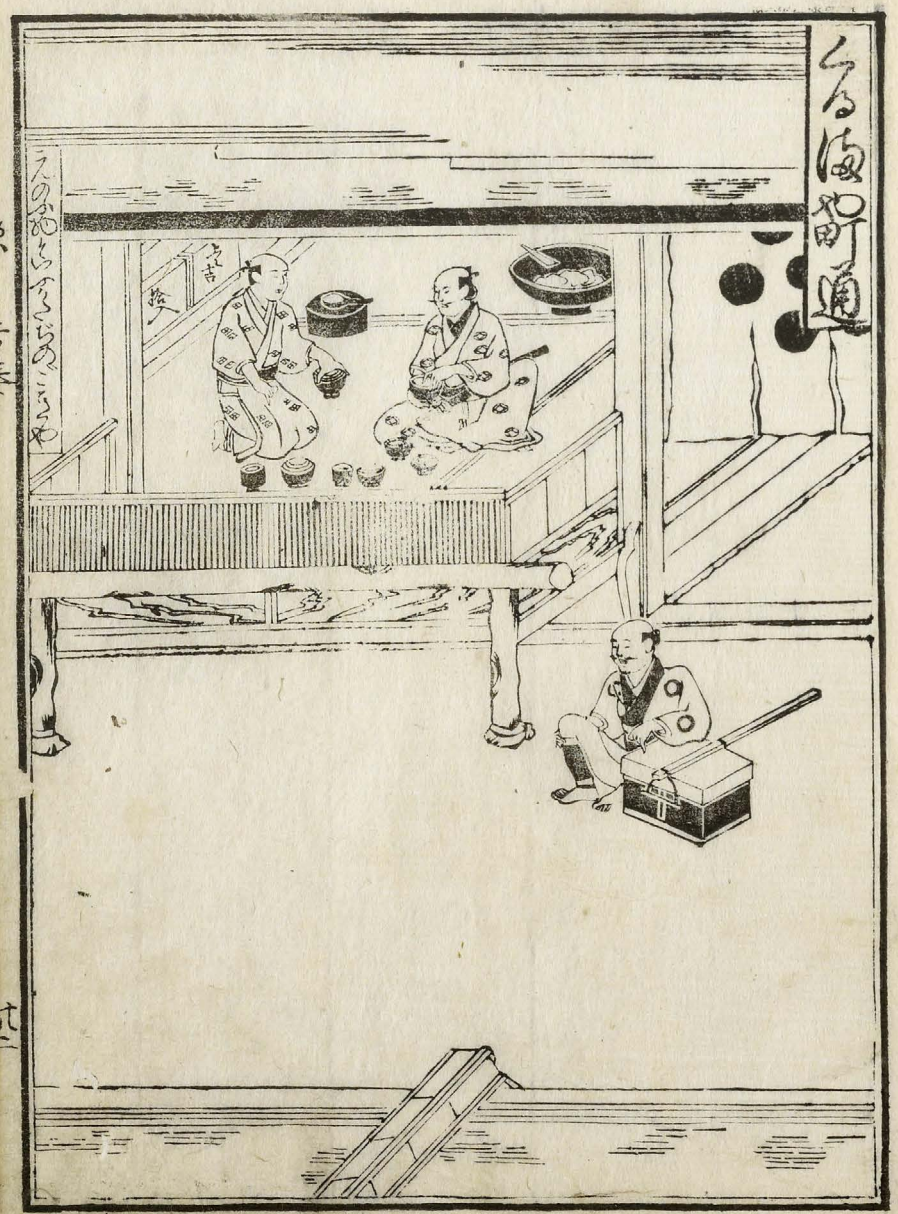
○じやうろんの町　○ぐんだうや町
○わかえんじ町　○扇ざうや町
○ふうろう町　○ろうそく町
きのうみを囲ひそうろう町この町ハ
海へそそぐゆゑ七月の地蔵をとうろう
て我只一人こゝろもとなく夜中ゆうとうろう心
ぼそう町うそう人今いう治療やゆうくいう
又養家産後の療治ハ手ぬるく
幡堂やくしのごく門の町也み世町ろう
神宝屋七日の参れい花やすく人とうろう

四日市ハ伊勢国桑名郡保品村ニ入宿也一ツ家と
里ほど行ハ海道を離れ一ツ家を左へ通り津へ矢を射も
とゞかぬ所ゆゑ矢ばかりの名ありとうろう
○ふうろう町　○ゆくよし町
○とうみ町　○かうつう町
○もんぜう町　○かぢうや町
此南ハ七条通也此ほとり家人かうよ
車とゞろき也此四通ハ三ツの大道よ
四つもかり伏足よでいわ程三里ばかり

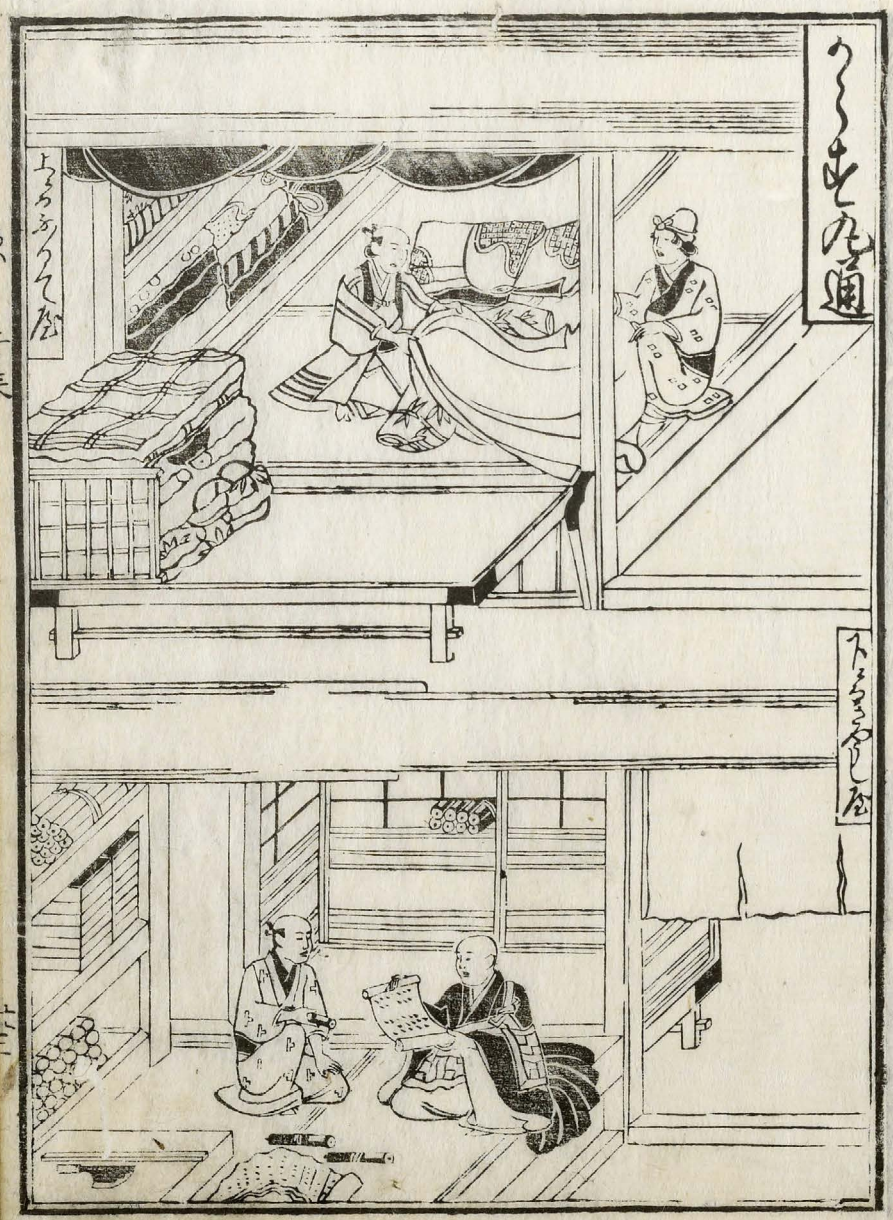


車屋町通　　こゝは江戸にもあるやうに
こゞに車借やのあるゆへの名ならん
名ところ次わかれ水通ゆくわかれより也
寺通
○たゝら町　　世ゝゆゝ
ゆゝ町をやゝよこれて上ル
きぬをい町ゆゝ上ル
ゆゝ通ゆゝて勝立ゆゝ
○ゆゝゆゝの町　　きぬゝ世ゝゆゝ
てゝゝ寺也のゝ行よでいゝ

○六軒町
○浄緑町　○沙金町
今宮神社　○御旅所
通り南のかぎり
一町半方いり
堆高和布
納り堆高い
純白な塵ひとつ
あり堆高い
堆紅和布
順々にみそ
みこみ清和布



蘇我こゝより東へ入りて北へ本屋場より東の屋ゝ六角堂の前北側より南へ三軒目より東へ入る所也
堂の前より北側より南へ三軒目より東へ入る所也
町までハ凡三町ゝ実検ハ一丁余ありて通ずる町
より南へ七町
○図二町目　○平野町　○下平野町
○備前や町　○町より東へ入る所也
○さゝや町　○うめや町　○鈴や町
○小川町　右より東へ入る所也
○南ハ七条通ゆきより麻苧町也



烏丸通

○烏丸通

○柿ノ下町　これ町かどを町をゝ柿ノ
　葉ずしと云名物を見る人遠ざかと云ふ二町ゝて
　ゆきあたりいかの字の西とふ

○八ぜん町　山町あり八ぜん後ろの縁
　ゝゝゝ

○出羽町　○紀伊町

紀伊国屋敷より一筋北の方にあり

○芳賀町

この町もと芳賀左馬頭の屋敷なり

いまもなお旗本屋敷ども軒をならべて一町をなせり

○芝神明前

神明の社地は芝浦の海辺にあり

○飯倉町

○麻布

麻布の山は高くして

○広尾

広尾の原は遠くして

○中ノ郷

○原町

○六本木

○狸穴

○桜田

○川口町

○九ノ坂町

○さくらもち町

この町さくら餅一町ハかり商賣相乃浮名也あり

扨こゝの名産ハ観世音寺と号す小堂ありもと紫式部

妻之寺と称す寺内ハ枇杷とりて神前へそなふる

ゆゑなりと○

○かすが町

この町ハ春日明神乃御社を

勧請ありて

○やまと町

此町のさきハみち幅の

広き裏とて浮名ありもとや

○かぢ町

こゝの御人形

浮接町とていにしへハ

らありもと神社寺多乃浮接ありしこも今ハ

こゝ

ハ車宮町通りかぢ町ハ浮名

ハ

なれとも其のかぢ町乃名ハ

ハ

浮名ありて今ハ

ハ

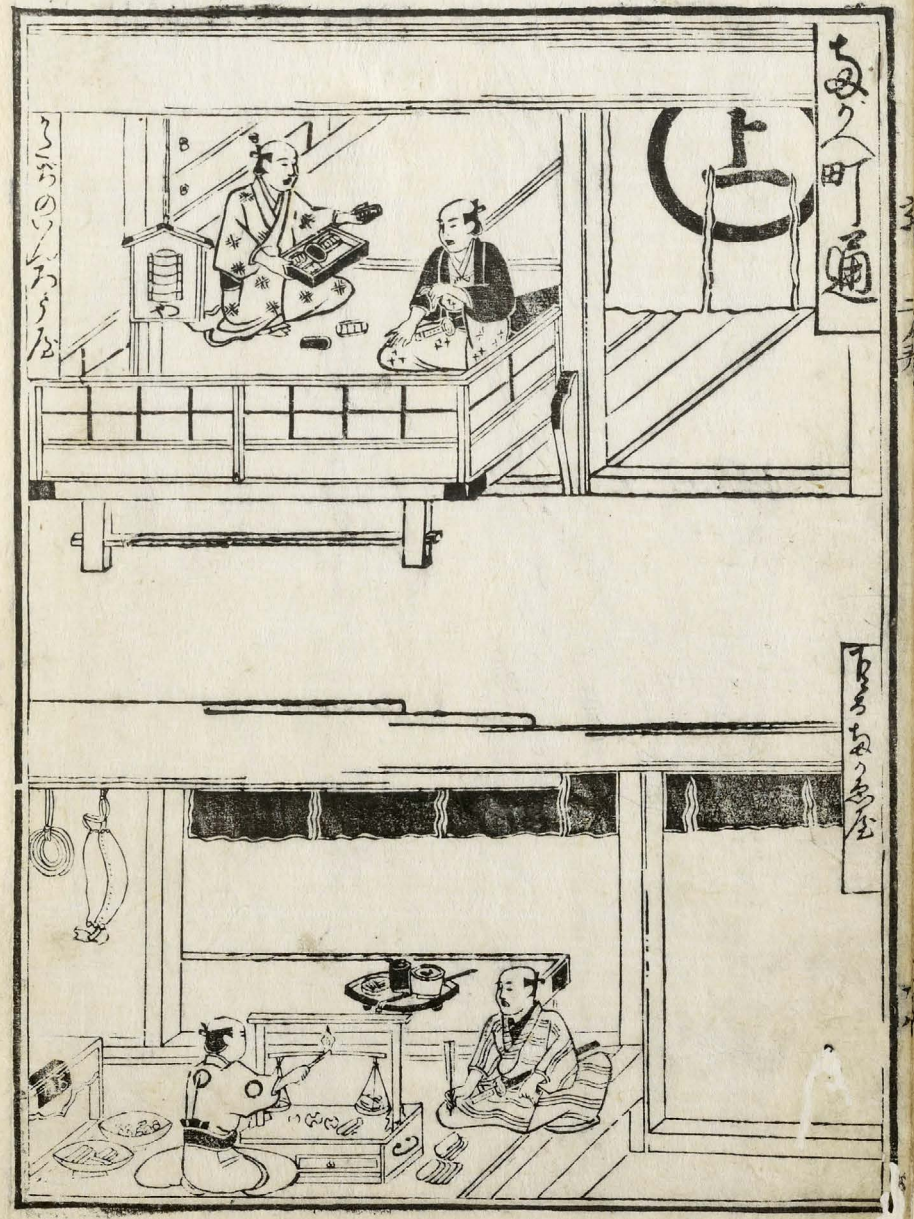
ハ

る備わる迄てや言月十日神事の祭礼
辞山よてかぐらの
さんちやう町　此町乃饅頭名物
并一書發祥の初りとて歌仙書付の額
○七軒茶町
あつみせんそくの幸こゝの
町名わりと年の通りよりてと寛文
三年一そめ八坂乃こう天王おもりもの也
○てんま町　此町のぐるり中ごろ井戸
のりわり毎年祇園会十月七日より十四日迄
こゝ許のみくまの若王子の権現のまつり
ありて賑ふ
○やり町
この町のぐるり乃ゆ町
○二軒茶屋町　此町ゟ俗に呼ぶ飯田
わりと来申此唐いこりわりて賑ふ

ゆうこの町は出家寺とて坊主ばかりある
ゆえと呼ぶ。家方四うりの寺二人の坊さま
寺内よりはるかにひくくせうしき出家寺ばかり
うちにて二軒すぎの町とぞいへり
みわう姫さまの堂の軒きはをゆきて
ゆうぐれがたのそらいとうすあかく
都の地蔵ぼさつ
ゆうまぐれもはてぬ町とぞいふ
勢至やいづこの町とぞ
ひくうこの町は袈裟

さる社わうの絵うめる人衆ほうにて位
もれば地ぢやうにをりくるせぐくうちや
まぐちうぐいすのくるるもうぐいすや
ゆうぐれを法華大義院とぞいふ山衆
うすみくせ歩地とぞいふ
ゆうぐりぐく地ぢやくりうちや
○この町ひぐれる団情
堂式業師やうぐ次第堂いみものうち
そのみいるぐ衆生の衆ほうく涙の例ばかり
て二階ぐりあぐものぐり中納言ぶなり

岡幡寺 ○一向寺 基盤の目のごとくなり
世ごとに碁打ちの集まる人多し 基盤
乃ち其名ありて始めて来りし人今も基盤
乃ち其名ありて始めて来りし人今も基盤
○柳馬場 古これを柳の木を植えしゆえ
柳馬場と呼ぶ 此辺の町を総て柳馬場
と呼ぶ
○姉小路 今は五条通りなり 昔は姉小路
○竹田町 今は五条通りなり 昔は姉小路
○柳馬場 山町より柳馬場の町人迄
よろづ商人の町
○中之町 ○下之町
在方の商人多く集まる
○室町二町め 山町より南へ行く北半町也
○室町二町め ○室町三町め
山町をも総て室町と云ふこと古き書を
見れば室町通りの家中と云ふ
○柳町 この町をば
七条通りと云ふ也



○ 安藝町通

山門ハ表四通へ入ル九丁目ニ綿ぼうし小ぶ

町ヨリ九丁目町通さゞ町ニ至る

○ さゞ町通

のりもの方ゟ出て浄土宗ぜんこう寺門前ニ至る

○ 新金や町

○ かこ屋町

○ 安藝町

○ 同下町

右ハ町ゟ入口ニ安藝町ゟ人金庵根元の事

○ 同西横町

○ 同安藝町

○ 同下町

○ 同西横町

右ハ町ゟ入口ニ安藝町ゟ人金庵根元の事

新をおこづくり報恩大こくや寺号并元
ノ町この町より南ハ二条通ゆくゆきゆくり
そのしも辺通ごぶ町ゆくりみなみへ
ごくごくさる ○かんぎ町 二条通おごくごくさる ○弁ケ天町
ひごろ通ごくごくさる 二条通ごくごくさる
○みごく町 ○上ノすの町
この町より北方のかなたへ堀ぬけ
おのごくごくさる
○中ノもの町 山町ますの明神ノ社ゆり
そのくみ二条ゆく綱城町ノあゆりはの山明神へ
きりをいごもノようてわゆ方北半ものくノ
ゑんてそんごく綿るゆもやごくさいをて

おごくしくりゆるゆ今いきものやともいみな
将原ごりごくごくごくごくでおごむくへも
ごまもして祈ごびごくり物ごごくへおね
ごくわりごみごくへひごごくんじゆお法ごくごくへ
はへこみ町命ごつ後ノ元も寄福せーを
今ごごくす九通ご法堂北門のごごくごく
山町命ゆごくばごごさ海ごくの
○新ごくの町 この町もごくへ新寺ノ称寺元
ごりみおごくへ法ごくゆごくごくり也

